

## 東三河南部地域医療連携協議会からの意見について

東三河南部地域医療連携協議会から、下記のとおり、各会員病院より「今後のウィズコロナ・アフターコロナ時代を見据えた診療体制」をテーマとした意見を聴取した結果の報告がありましたので、送付いたします。

### 記

#### 今後のウィズコロナ・アフターコロナ時代を見据えた診療体制について

今回のオミクロン株のように、軽症であっても感染力が強く、感染が急拡大した場合には、1つの病院のみの対応ではすぐに病床がひっ迫してしまうため、地域での連携した対応が必要となる。

具体的には、一次医療施設は軽症患者の診療を行い、基幹病院で入院患者の診療に特化する体制が望ましいと考える。あわせて、入院患者を受け入れる病院においては、感染収束時には一般病棟として利用し、拡大時に感染症に対応できる病棟を準備することで、無駄をなくし通常の医療需要に対応していくことも必要である。

特に南部地域は、コロナ診療にあたる病院が少ないため、連携を強化し地域全体で安定した医療提供体制を維持していくことが重要であるという認識で一致をした。